

下麻生城址



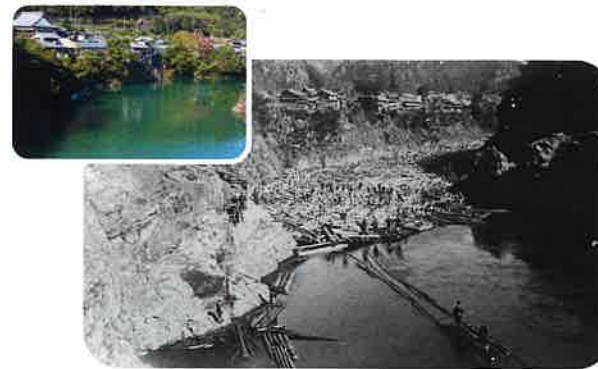
飛騨川を一望にできる断がいにあった山城で、遠望は白川・八百津・兼山方面におよび、飛騨街道の要衝を占めていた。

別名「遠見山」と呼ばれていたこの城は、三つの山からなり、本丸・二の丸・旗振場などが構築されていたと推定される。

城主は、稲葉一族の彦六(良通一鉄)ともいわれ、戦国時代に築城してこの地方を支配していた。しかし、金山(兼山)城主森長可によって攻められ落城した。その後、井戸七郎兵衛が城を守って、白川方面の中継地としていたが、再び戦乱が起り、城主は落ち延びて廃城となった。

井戸七郎兵衛は稲葉氏の家臣ともいわれ、撤退の際、森長可によって船中で謀殺されたとの伝承もある。

遠見山周辺にはこんな史跡も



しもあそうつなば 下麻生網場

飛騨川流材のはじまりは、享祿元年(1528)という記録が最も古い。飛騨山中で伐採された木材は、谷川から大川へと、1本1本下麻生網場迄流送されてきた。この網場は川幅も広く平流であったことから、流材を止めるのに最適な場所であった。

木材は網場で筏に生まれ、白鳥湊(名古屋市)まで川を下ったが、数量は年間25万本にもなった。ただ稼働時期としては、川の増水時を避けた毎年9月から、翌年3月までであった。

この網場は明治以降、道路の改修、運送業の発達により、しだいに衰え、昭和になって高山線の開通、発電所ダム建設により、姿を消していった。

遠見山までのアクセス

- 自動車**
- 名神高速道路を利用の場合
小牧IC → 国道41号線 → 川辺町(約60分)
 - 東海環状自動車道を利用の場合
美濃加茂IC → 国道41号美濃加茂バイパス → 川辺町(約20分)
- 電車**
- JR名古屋駅 → JR岐阜駅 → JR下麻生駅 → 遠見山
 - JR名古屋駅 → JR多治見駅 → JR美濃太田駅 → JR下麻生駅 → 遠見山
 - 名鉄名古屋駅 → 名鉄新鵜沼駅 → JR鵜沼駅 → JR下麻生駅 → 遠見山

お問合せ先

川辺町役場
☎0574-53-2511
〒509-0393 岐阜県加茂郡川辺町中川辺1518番地4
HP <http://www.kawabe-gifu.jp/>
Facebook <https://www.facebook.com/kawabeboat>



かわべ
とが み やま
遠見山
散策
MAP





南天の滝
 南天の滝は飛騨川支流の日後谷川にかかる落差約20mの直瀑です。かつて滝の周辺に南天が多く自生していたことからその名がつけられました。景行(けいこう)天皇の沐浴にちなんで「天子の滝」とも称されています。

城址に池があり、池の水はいくら長い晴天が続いても、水が絶えないという不思議な池である。

遠見山・下麻生城址
 飛騨川と町が一望でき、標高は272m。昔は山頂に下麻生城がありました。(文献が少ないため、詳細は不明)

▲見晴らし岩からの眺望

▲登山道入口のトンネル

北部公民館
 遠見山に登山される方は北部公民館の駐車場・トイレをご利用ください。(※休館日あり)

▲国道41号を横断し、七宗町方面へ35m進み左折する。

..... 登山ルート

※遠見山に登山される方は北部公民館駐車場をご利用ください。